

# 経済・金融 フラッシュ

## 中国経済：5月の製造業PMI ～8ヵ月連続の50%超、また“西高東低”には変化の兆し

経済調査部門 首席主任研究員 三尾 幸吉郎

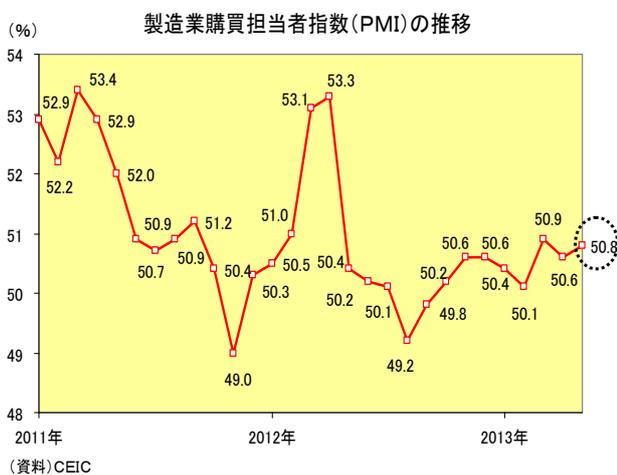
TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

- 5月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）は50.8%と、4月の50.6%から0.2%ポイント上昇、経済拡張・収縮の分岐点となる50%を8ヵ月連続で上回った。
- また、5月に0.2%ポイント上昇した原因を分析して見ると、25%の比重を持つ生産指数が0.7%ポイント上昇したことではほぼ説明できる状況で、総合指数上昇の主因となった。
- 東部地区は3ヵ月連続の50%超えとなったものの、中部地区は2ヵ月連続で50%を下回っており、ひところは“西高東低”といわれた状況が“東高西低”に変化しつつある。
- また、新規輸出受注指数は49.4%と50%割れながらも前月よりも0.8%ポイント上昇、生産経営活動予想指数は56.3%と50%を大幅に上回るものの2ヵ月連続で低下した。

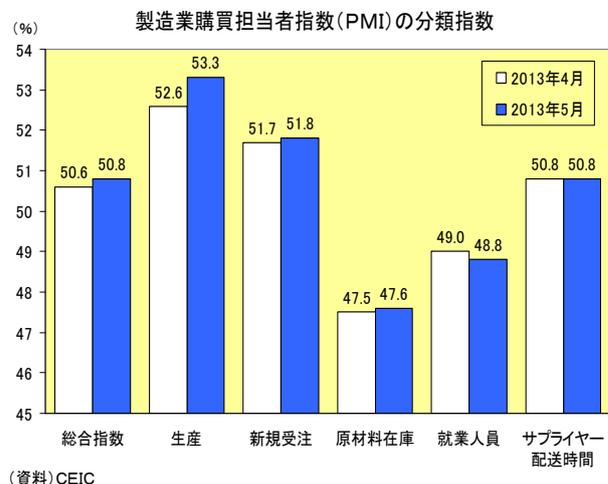
### 【 8ヵ月連続の50%超、生産指数が上昇の主因 】

中国では6月1日（土）に、中国物流購買連合会と国家统计局サービス業調査センターが5月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）を発表した。それによると、5月の総合指数は50.8%と、4月の50.6%から0.2%ポイント上昇し、経済拡張・収縮の分岐点となる50%を8ヵ月連続で上回った（図表-1）。

（図表-1）



（図表-2）



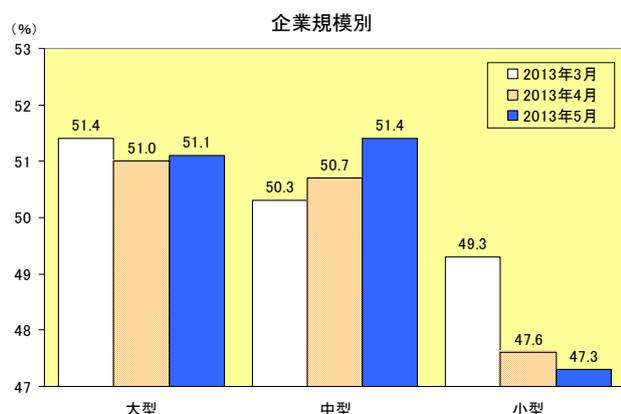
分類指数を見ると（図表-2）、生産指数が53.3%と前月の52.6%から0.7%ポイント上昇、新規受注指数は51.8%と前月の51.7%から0.1%ポイント上昇、原材料在庫指数は47.6%と前月の47.5%から0.1%ポイント上昇、就業人員指数は48.8%と前月の49.0%から0.2%ポイント低下、サプライヤー配送時間指数は50.8%と前月と同じだった。従って、総合指数の0.2%ポイント上昇は、25%の比重を持つ生産指数の0.7%ポイント上昇でほぼ説明できる。

## 【 地区別には“東高西低” 】

企業規模別に見ると（図表-3）、大型企業が51.1%と前月の51.0%から0.1%ポイント上昇、中型企業が51.4%と前月の50.7%から0.7%ポイント上昇、小型企業が47.3%と前月の47.6%から0.3%ポイント低下となった。これで、大型企業は9ヵ月連続、中型企業は3ヵ月連続で50%を上回ったものの、小型企業は14ヵ月連続で50%を下回っており、小型企業の苦境が鮮明となった。

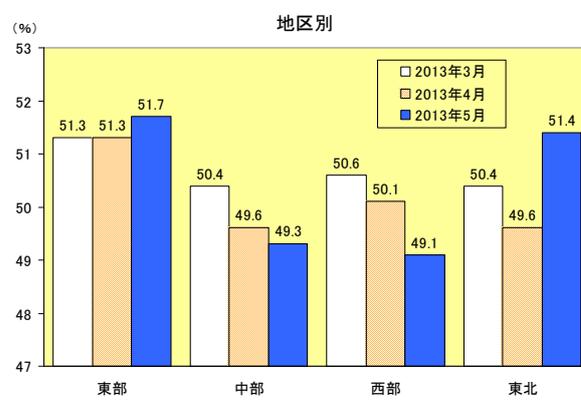
また、地区別に見ると<sup>(注)</sup>（図表-4）、東部地区が51.7%と前月の51.3%から0.4%ポイント上昇、中部地区が49.3%と前月の49.6%から0.3%ポイント低下、西部地区が49.1%と前月の50.1%から1.0%ポイントの低下、東北地区が51.4%と前月の49.6%から1.8%ポイント上昇となった。これで、東部地区は3ヵ月連続の50%超えとなったが、中部地区は2ヵ月連続で50%を下回っており、ひところは“西高東低”といわれた状況が“東高西低”に変化しつつあるようだ。

(図表-3)



(資料)CEIC

(図表-4)



(資料)CEIC

その他の指数を見ると、輸出の先行指標として注目される新規輸出受注指数は49.4%で、前月の48.6%よりも0.8%ポイントの上昇となったものの50%を2ヵ月連続で下回っている。また、今後3ヵ月以内の生産経営活動に対する楽観度を示す生産経営活動予想指数は56.3%と、大幅な50%超が続いたものの、今年3月の65.5%をピークに2ヵ月連続で低下、楽観度には陰りも見られる。

(注) 東部地区は北京、天津、河北、上海、江蘇、浙江、福建、山東、広東、海南の10省(市)、中部地区は山西、安徽、江西、河南、湖北、湖南の6省、西部地区は内蒙古、広西、重慶、四川、貴州、雲南、西藏、陝西、甘肅、青海、寧夏、新疆の12省(市、自治区)、東北地区は遼寧、吉林、黒龍江の3省

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。